



Indigeneity Today: The Historical Conjuncture

JAMES CLIFFORD

今日のアルティーク・カヤック Photo by James Clifford.

北海道大学アイヌ・先住民研究センター講演会

今日の先住民性——歴史的状況

講師: **ジェイムズ・クリフォード**

(カリフォルニア大学サンタ・クルーズ校・特別功労教授)

通訳: **太田 好信**

(九州大学大学院比較社会文化研究院・教授)

2018. **9月22日(土)**

13:30~15:30 (開場13:00)

※参加無料・申込不要・逐次通訳

場所: 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 (W棟) 203教室
(札幌市北区北10条西7丁目 北海道大学構内)

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

主催: 北海道大学アイヌ・先住民研究センター

お問合せ: TEL/FAX 011-706-2859 E-Mail ainu@let.hokudai.ac.jp

<http://www.cais.hokudai.ac.jp/>

1980年代以降、「先住民性」を社会、文化、政治運動の緩やかな集合体として考えたとき、それはトランス・ナショナルな存在として出現したといえる。この出現により、コロニアリズムの歴史が姿を変え、活発に継続していることが認識可能になる。時間としての均質さを欠く現在において、これまでとは異なった過去、そして予定調和的ではない未来を想像するのは、喫緊の政治課題の一つといえよう。しかし、その課題は、ナショナルであり、そしてトランス・ナショナルでもある支配と転覆、占有と翻訳という諸関係のなかに必然的に絡み取られている。土着と呼ばれている人びとは、都市に生活し、そして大陸と大陸との狭間に生きる。この講演では、ネオ・リベラル資本のネットワークに参加しつつも、それに挑戦し、それを超越する先住民的实践を十分に説明できる歴史的「リアリズム」の可能性を、わたしは模索してみたい。

